

済生会超音波研究会
Saiseikai Echo Association (SEA)
秋セミナー 2018
講演3:領域横断(腹部領域主体)
『超音波検査 – 自分ができること・
自分が決めることが』

野中 利勝
(福岡県済生会大牟田病院)

 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

検査環境の問題点

- ① 超音波専門医・指導医がない
- ② 近くで勉強会・講習会がない
⇒ Web講習(動画配信)、e-ラーニング
- ③ 病理がない、健診にて経過が困難
- ④ そもそも報告書の書き方に問題?
⇒ 所感) にすべきであるが
報告書には 診断) となっている

 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

今日のテーマ
『超音波検査 – 自分ができること・
自分が決めることが』

- ・現場では、自分で判断することができる。そのためには…
①超音波の限界を知ること
②自分の限界を知ること
- ・様々な検査環境に従事する皆さんに、
何か一つでもアドバイスができるれば…
(基礎、ルーチン、救急、処置 etc.)

 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

腹水について

◆FAST(focused assessment with sonography for trauma)
FASTにおける液体貯留の検索部位
1.心嚢液貯留→2.右胸腔内→3.Morison窩
→4.左胸腔内→5.脾周囲→6.膀胱周囲
なぜなら、溜まりやすい部位だから

◆腹水推定量(5point method)
腹水量ml=5箇所の腹水厚径の平均cm
$$\times (\text{体重} \div 60\text{kg}) \times 1000\text{ml}$$

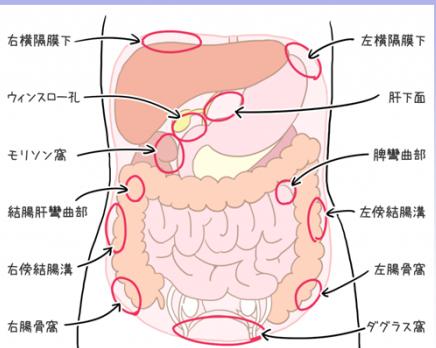
 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

どのくらいの腹水量なの?

- ① モリソン窩 and/or 脾腎境界面のみ 150ml
- ② ①+ダグラス窩または膀胱上窩のみ 400ml
- ③ ②+左横隔膜下腔のみ 600ml
- ④ ③+両側傍結腸窩のみ 800ml
- ⑤ ④+右横隔膜下腔(腹水の厚み
(0.5cm) 1000ml (1.0cm) 1500ml
(1.5cm) 2000ml (2.0cm) 3000ml
(仰臥位、50Kgの場合、沖縄県立中部病院)

 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

腹水が溜まりやすい部位



 *Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital*

救急

検査前の観察point(ベッド上)

- ①年齢、性別、体格
- ②意識、会話、体動
- ③症状(痛み、発熱、浮腫、黄染)
- ④予防(出血、嘔吐、咳)
- ⑤既往症(糖尿病等)、飲食有無

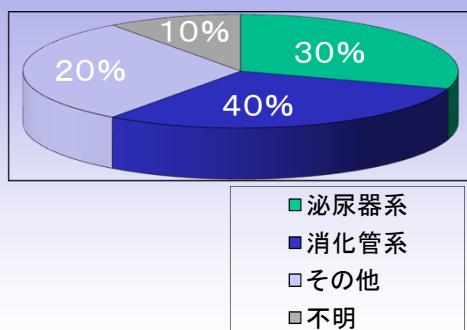
 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

救急検査の注意点

- ①症状が強い部位から始めるが、重要所見は一つとは限らない
- ②正確でスピーディな検査を心がける
- ③体位変換は結果的に早く終了することもある
- ④重要所見は認めた時に画像を残しておく
- ⑤医師との会話は患者にも聞こえており、画像も見られていると認識する
- ⑥冷たいゼリーの使用、プローブによる突然の圧迫で、患者を驚かせない

 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

遭遇する急性腹症(腹痛)



 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

急性腹症の代表的疾患

- | | |
|---------|----------|
| ①尿路結石 | ⑥解離性大動脈瘤 |
| ②急性胆囊炎 | ⑦動脈瘤破裂 |
| ③急性膵炎 | ⑧心筋梗塞 |
| ④腸管イレウス | ⑨肺塞栓症 |
| ⑤消化管穿孔 | ⑩その他 |

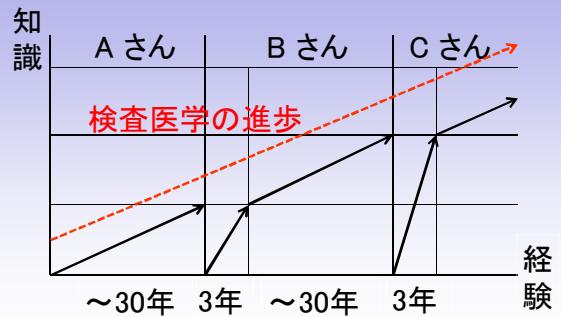
 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

超音波検査に必要なこと

- ① 健診・一般[+算]/緊急検査[−算]
⇒多くの引出しを持つ
- ② 知識・技術の向上、無二の経験
⇒統計を知る、先入観を持たない
- ③ 探求心、平常心
⇒冷静な判断を行う
- ④ 根拠のある画像を残す
医師の信頼に応えられる、医療に貢献できる超音波検査士になる

 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

知識・技術の向上



 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

超音波検査士の貢献(役割)

- ① 患者へ検査目的・内容の説明
- ② 正確でスピーディな検査
- ③ 病態の記録⇒報告書作成
- ④ 機器のメンテナンス⇒安全管理
- ⑤ 次世代への伝承⇒新人教育
医師との信頼関係

 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital

これからの生理・超音波検査

- ◆生化学検査では
精度管理⇒精度保証⇒品質保証へと移行
- ◆済生会グループには
エコー検査に携わる優秀な医師・技師がいる

 Fukuokaken Saiseikai Oomuta Hospital